

【官公庁】

国土交通省リアルタイム川の防災情報	http://www.river.go.jp
国土交通省	http://www.mlit.go.jp/
石狩川開発建設部	〒060-8541 札幌市中央区北2条西19丁目 TEL(011)621-1541 ホームページ http://www.is.hkd.mlit.go.jp/
旭川開発建設部	〒078-8513 旭川市宮前通東4155番31 TEL(0166)32-1111 ホームページ http://www.as.hkd.mlit.go.jp/
P8 3-F 滝川河川事務所	〒073-1103 樺戸郡新十津川町字中央89番地 TEL(0125)76-2211 ホームページ http://www.is.hkd.mlit.go.jp/08isiken/02genba/25takikawa/index.html
P2 1-G 北空知河川事業所	〒079-0502 雨竜郡妹背牛町字妹背牛482-1 TEL(0164)32-2470 ホームページ http://www.is.hkd.mlit.go.jp/08isiken/02genba/31kitasora/index.html
P16 1-G 滝川市役所	〒073-8686 滝川市大町1丁目2番15号 TEL(0125)23-1234 ホームページ http://www.city.takikawa.hokkaido.jp
P13 3-A 赤平市役所	〒079-1192 赤平市泉町4丁目1番地 TEL(0125)32-2211 ホームページ http://www.city.akabira.hokkaido.jp/
P10 3-E 砂川市役所	〒073-0195 砂川市西6条北3丁目1-1 TEL(0125)54-2121 ホームページ http://www.city.sunagawa.hokkaido.jp
深川市役所	〒074-8650 深川市2条17番17号 TEL(0164)26-2216 ホームページ http://www.city.fukagawa.hokkaido.jp/
P8 2-F 新十津川町役場	〒073-1103 樺戸郡新十津川町字中央301番地1 TEL(0125)76-2131 ホームページ http://www.dosanko.co.jp/sintotsu/
P5 2-B 雨竜町役場	〒078-2692 雨竜郡雨竜町字フシコウリウ104番地 TEL(0125)77-2211 ホームページ http://www.town.uryu.hokkaido.jp/
妹背牛町役場	〒079-0592 雨竜郡妹背牛町字妹背牛5200番地 TEL(0164)32-2411 ホームページ http://www.town.moseushi.hokkaido.jp

【観光協会】

たきかわ観光協会	〒073-0022 滝川市大町1丁目8番1号産経会館内 TEL(0125)23-0030 ホームページ http://caeser.or.jp/kankou/
深川市観光協会	市役所商工労政課内 TEL(0164)26-2264 ホームページ http://www.city.fukagawa.hokkaido.jp/kankoh/newpage5.htm
砂川観光協会	〒073-0131 砂川市東1条南1丁目1-23 TEL(0125)54-4995 ホームページ http://e-sunagawa.co.jp/kankou/
赤平観光協会	市役所商工労政観光課内 TEL(0125)32-2211
新十津川町観光協会	役場観光係内 TEL(0125)76-2131
雨竜町観光協会	〒078-2606 雨竜郡雨竜町第6区(商工会館内) TEL(0125)77-2155 ホームページ http://www.uryunuma.info/main/

【道の駅】

北海道北の道の駅	ホームページ http://www.hokkaido-michinoeki.jp
P19 4-A 道の駅 たきかわ	〒079-0463 滝川市江部乙町東11丁目13-3 TEL(0125)26-5500
P4 1-G 道の駅 田圃の里うりゅう	〒078-2600 雨竜郡雨竜町字満寿28番地の3 TEL(0125)79-2100
道の駅 ライスランドふかがわ	〒074-1271 深川市音江町字広里59番地7 TEL(0164)26-3636

【キャンプ場・温泉】

P17 8-A 滝川・丸加高原オートキャンプ場	〒079-0461 滝川市江部乙町3949番地14 TEL(0125)75-2181
P17 9-A 丸加高原伝習館	〒079-0461 滝川市江部乙町3949番地14 TEL(0125)75-5451
P7 4-C 滝川ふれあいの里	〒073-0041 滝川市西滝川76番地1 TEL(0125)26-2000
エルム高原オートキャンプ場	079-1102 赤平市幌岡町392-1 TEL(0125)34-2164
赤平市保養センターエルム高原温泉	〒079-1102 赤平市幌岡町377-1 TEL(0125)34-2155
赤平市ケビン村「虹の山荘」	〒079-1102 赤平市幌岡町377-1 TEL(0125)34-2177
まあぶオートキャンプ場	〒074-1273 深川市音江町字音江459番地1 TEL(0164)26-3000
青少年交流キャンプ村	〒073-1106 樺戸郡新十津川町字総進191番地4 TEL(0125)76-2991
妹背牛温泉 ベベル	〒079-0501 雨竜郡妹背牛町字妹背牛5208番地の1 TEL(0164)32-4141

【スポーツ施設】

P8 3-D 滝川市民ゴルフ場	〒073-0042 滝川市泉町1丁目21-12 TEL(0125)24-2761
P8 4-G 滝川スカイパーク(グライダー)	〒073-0035 滝川市中島町139番地4
(社)滝川スカイスports振興協会 SATA	TEL(0125)24-3255
P7 3-C 滝川市B & G海洋センター	〒073-0041 滝川市西滝川10番地 TEL(0125)23-4194
P10 3-E 砂川市B & G海洋センター	〒073-0163 砂川市西3条北9丁目1-1 TEL(0125)52-4809
P9 3-B 砂川オアシスゴルフコース	〒073-0108 砂川市北光114番地1 TEL(0125)52-4121

【その他】

P7 3-C 川の科学館	〒073-0041 滝川市西滝川1番地 TEL(0125)24-0989
P16 1-G 美術自然史館	〒073-0033 滝川市新町2丁目5-30 TEL(0125)23-0502
P16 1-G 子ども科学館	〒073-0033 滝川市新町2丁目6-1 TEL(0125)22-6690

発行「まちづくり・川づくり協議会」

〒073-8686 北海道滝川市大町1丁目2番15号 滝川市役所 都市計画課内 まちづくり・川づくり協議会事務局
ホームページ <http://www.matikawa.jp/> メールアドレス info@matikawa.jp

River Map — Middle region of Ishikari river —

ふかがわ



石狩川ルネサンスの森

あかびら

もせうし



たきかわ

うりゅう



しんとつかわ



つなかわ



石狩川中流域

りばー

石狩川

花園頭首工(深川市)
と
砂川遊水地(砂川市)

空知川

水辺の楽校(赤平市)
と
石狩川合流点(滝川市)

マップ

発行 / まちづくり・川づくり協議会

耐水性加工

水に強く、水によって変質しない耐水性用紙に印刷しています。
水辺での活動において、参考資料としてお役立てください。

川を楽しむ♪

季節、天候によって
様々な表情を見せる川。
母なる石狩川。
野草や野鳥を愛でたり
川を遠くから眺めたり
カヌーで渡ったり…
川との親しみ方、
川の楽しみ方は
無限にあります。
このガイドを片手に
川へ行きましょう。
あなたの世界が
より豊かに輝き出しますように。

り

ば

ー

マ

ツ

プ

石狩川

花園頭首工（深川市）
と
砂川遊水池（砂川市）

空知川

水辺の楽校（赤平市）
と
石狩川合流点（滝川市）

石狩川中流域

River Map

— Middle region of Ishikari river —

川へ出かけよう♪

降雨後などは
川の状態が
大きく変化して
危険な場合もあります。
川で楽しく遊ぶには
状況を冷静に
判断することが
必要な時もあります。
無理せず
楽しみましょう。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号）平16道複第185号」
【引用文献】野鳥観察ハンディ図鑑「新・水辺の鳥」（編集・発行：財団法人 日本野鳥の会）

自然の状況については変化している事がありますので、ご了承ください。また、カヌーツアーにこの冊子を使用する場合、河川の状況は常に変化していますので、安全なツアーのための参考資料としてお使いください。アクセス道路は実際に、河岸に近づけない所もありますので、事前に見ることをお勧めします。あくまでも参考として下さい。

凡 例

表 示	項 目
	河 川
	国 道
	主 要 道 々
	高 速 道 路
	J R
	自 転 車 専 用 道 路 もしくは堤防上の道路
	橋
	護 岸

表 示	項 目
	ア ク セ ス 道 路
	注 意（危 険）箇 所
	川 辺 の 体 験 活 動 候 補 地 もしくは景勝ポイント
	上 陸 適 地
	樋 管 ・ 樋 門
	病 院
	公 共 機 関 そ の 他
	ト イ レ



石狩川とは？

Ishikari River

「石狩川」は、北海道の屋根大雪山系・石狩岳（標高 1,967m）に源を発し、大小70余りの支川を合わせて日本海に注ぐ我が国屈指の大河川である。
長さは全国第3位の 268km、流域面積は全国第2位の 14,330 km²で北海道全体の6分の1の面積に相当する。

命が芽吹き、動き出す春。

緑が輝きを増す、夏

空が高くなり、鮮やかな夕焼けが川面を染める、秋。

静かな銀世界に包まれる、冬。

季節が移り変わるたびに

表情を変える川。



海からはじまり

海へと還っていく

川の姿こそ、まさに水の物語。

川は教えてくれる、

世界は海を通じて、

川を通じて

ひとつに繋がっているということ。

Sorachi River

空知川とは？



「空知川」は、流域面積 2,618 km²・長さ 194.5km と、石狩川水系最大の支流で、狩振岳を水源として富良野市を經由し、滝川市で石狩川に合流する。空知川の語源はソ・ラブ・チで、「滝がごちゃごちゃ落ちている」という意味である。松浦氏石狩日誌には十二条の滝が並んでいると書いてあり、その異常な姿からソ・ラブ・チ・ペツの名が生まれたと言われている。

石狩川の名前の由来

石狩川の語源の由来はいくつかありますが一般的には非常にまがりくねった川を意味するアイヌ語の「イ・シカラ・ペツ」と山田秀三著『北海道の地名』によれば、「イシ・カラ・ペツ」（美しく・作りたる川）という説がある。



洪水防御施設

砂川遊水地

平成7年完成
面積は 1.8 km²

砂川新水路工事（S39～S44）によって生じた三日月型の旧河道を利用して設置されたもの。管理センターが設置され、ジョギング、水辺遊び、釣りやヨットやカヌーなどを通して利用者のコミュニケーションの場となっている。

【遊水地の効果】

大雨などによって、洪水が発生した場合、石狩川を流れる水の一部を越流堤から遊水地の中に貯め込む。これによって、下流に流れる水量が減少し、下流域は安全な状態となる。遊水地に貯まった水は、洪水がおさまってから排水門を開け、ゆっくり下流へと流す。

自然を満喫!! キャンプ場情報



エルム高原オートキャンプ場

赤平市幌岡町392番地1 TEL(0125)34-2164

観光利便施設



- 料 金（入場料）——
 - 大人……………1,000円
 - 小学生以下……………500円
 - フリーテントサイト（1区画）……………1,000円
 - キャンプサイト（1区画）……………2,000円～
 - キャンパンスイト（1区画）……………5,000円
- センターハウス施設
 - 水洗トイレ・身障者用トイレ・洗面所・シャワー（5分200円）・ランドリー（200円）・乾燥機（100円）・売店・自動販売機・公衆電話
- 場内施設
 - 炊事棟・サニタリー棟・水洗トイレ・洗面所・魚釣り・川遊び・ファイヤーサークル
- 近隣施設
 - ケビン村「虹の山荘」、エルム高原温泉「ゆったり」、エルム高原家族旅行村

滝川・丸加高原オートキャンプ場

滝川市江部乙町3949番地14 TEL(0125)75-2181

観光利便施設



- 料 金（入場料）——
 - 中学生以上……………1,000円
 - 小学生以下……………500円
 - テントサイト（1区画）……………2,500円
 - オートキャンプ（1区画）……………3,000円～
 - カーサイト（1区画）……………4,000円
 - キャンピングカーサイト（1区画）……………6,000円
- センター施設
 - 売店・シャワールーム・コインランドリー・トイレ・レンタル用品・卓球台・研修室
- 場内施設
 - 炊事棟・水洗トイレ・洗面所・魚釣り・修景池・せせらぎ・散策路
- 近隣施設
 - 丸加高原伝習館・パラグライダー・サッカー・ソフトボール・パークゴルフ場

まなぶオートキャンプ場

滝川市江部町字高江459番地1 TEL(0164)26-3000

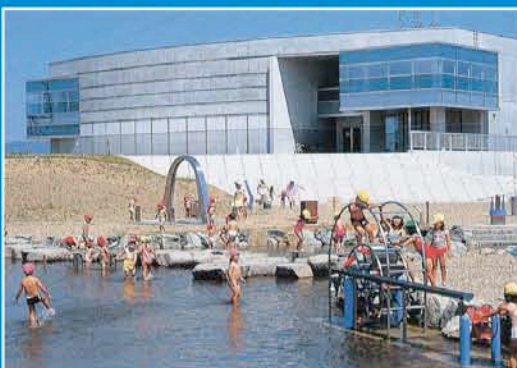
観光利便施設



- 料 金（入場料）——
 - 中学生以上……………1,000円
 - 小学生以下……………500円
 - フリーテントサイト（1区画）……………500円
 - キャンプサイト（1区画）……………3,000円～
 - キャンパンスイト（1区画）……………5,000円
 - コテージ（1棟）……………12,000円
- センター施設
 - 管理室、ミーティングルーム、売店、ランドリー、シャワールーム、トイレ、公衆電話、ロビー、自販機、機材庫
- 場内施設
 - 多目的広場・芝生広場・遊具 1カ所 コンビネーション遊具一式
- 近隣施設
 - あぐり工房まなぶ

※各施設の料金等につきましては 2005 年（平成 17 年）4 月現在のものですのでご了承下さい。詳細につきましては各施設へお問合せ下さい。

～楽しく学べるおすすめ施設～



川の科学館

滝川市西滝川1 TEL(0125)24-0989

- 開館時間
 - 10:00～17:00
- 休館日
 - 月曜日（祝日のときは開館）
 - 11/4～4/28までは閉館
- 入館料
 - 無 料

平成2年（1992年）開館

科学館前庭には、北海道を縦断する石狩川を1/1000スケールで再現した石狩川リバーウォークや水の原理をテーマにした楽しい遊具を設置した学習の池。館内には石狩川に生息する淡水魚などの水族館を中心に、水と川の知識を「水の不思議」、「川の不思議」、「豊かな水環境」の3つのテーマをパネルで展示するなど、体験して学べるコーナーが充実。河川を学習するための書籍等を多数用意している。また川の教室や講演、講座を開くなど川に関する多くの活動を実施している。







- ①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱



妹背牛鉄橋



川辺の体験活動候補地
江部乙西18丁目



野草発見!
江部乙町西18丁目周辺
ポプラ、クサフジ



土壁とショウドウツバメの巣



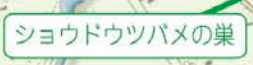
妹背牛鉄橋上流左岸ブロック



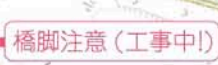
川辺の体験活動候補地
石狩川・江部乙川合流点



道の駅 田園の里うりゅう



ショウドウツバメの巣

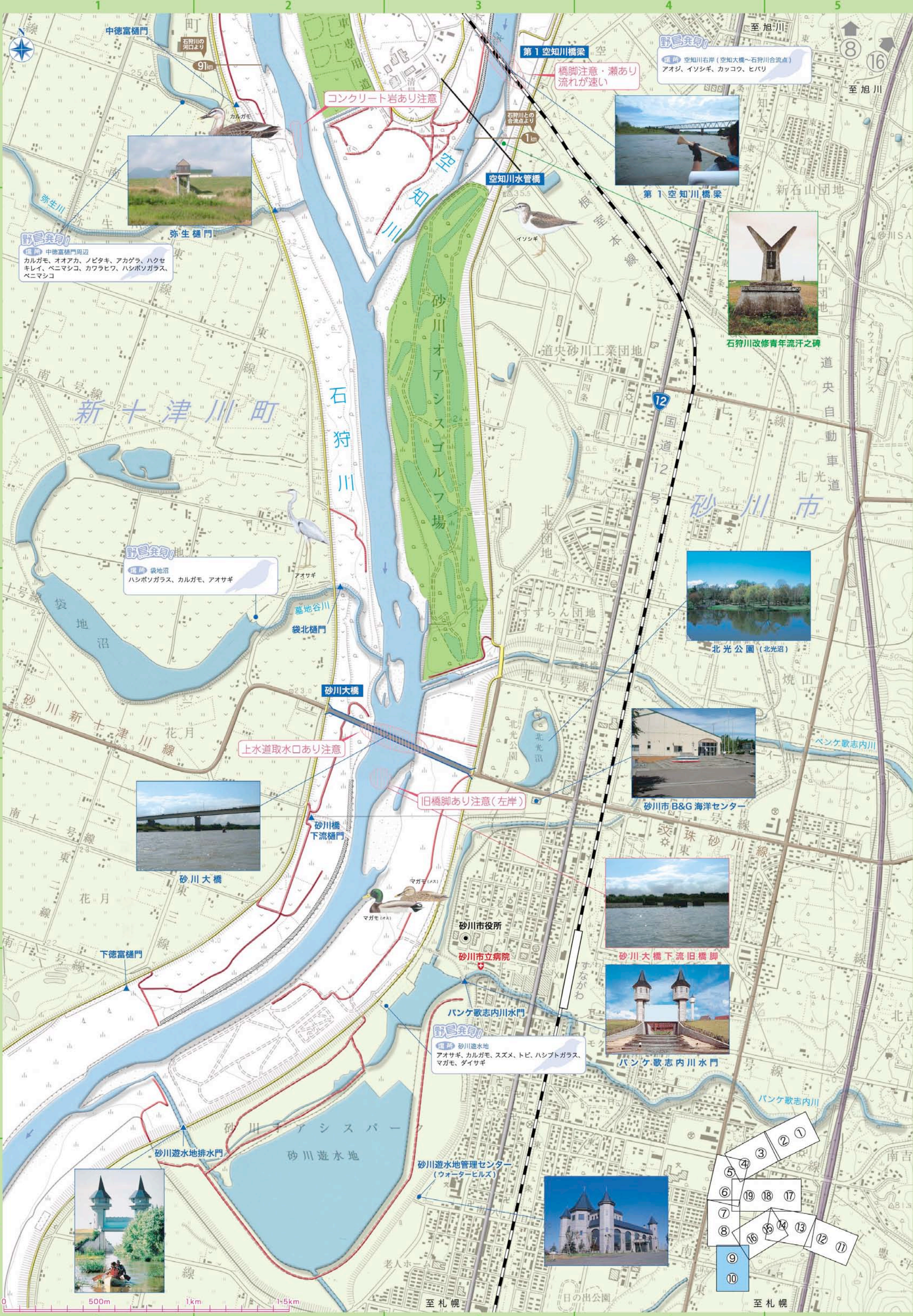


橋脚注意(工事中!)

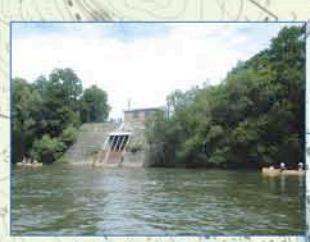
ポプラの木











赤間小裏発電所



赤平排水機場



赤平樋門

野鳥見物
【場所】空知川右岸（虹かけ橋～新成大橋）
アオジ、イワツバメ、キセキレイ、カワラヒワ、カワセミ、マガモ、ベニマシコ



第3空知川橋梁



キセキレイ（オス/メ）
アオサギ（オス/メ）



空知川・幌倉川合流点

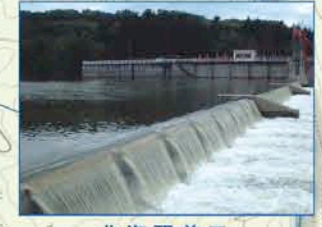


ココで上陸すること

頭首工あり（ボーテージ）
早めに右岸へ寄れ



アオサギ

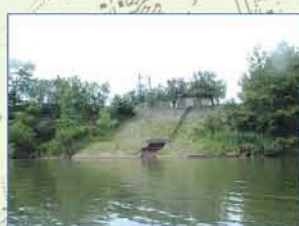


北海頭首工



新成大橋

野鳥見物
【場所】空知川左岸（第3空知川橋梁～空知川橋）
アオサギ、アオジ、シジュウカラ、ヒヨドリ、イワツバメ、カワセミ、キジバト、マガモ、トビ、カワラヒワ、オシドリ、イソシギ、ベニマシコ、ショウドウツバメ



幌倉揚水機場

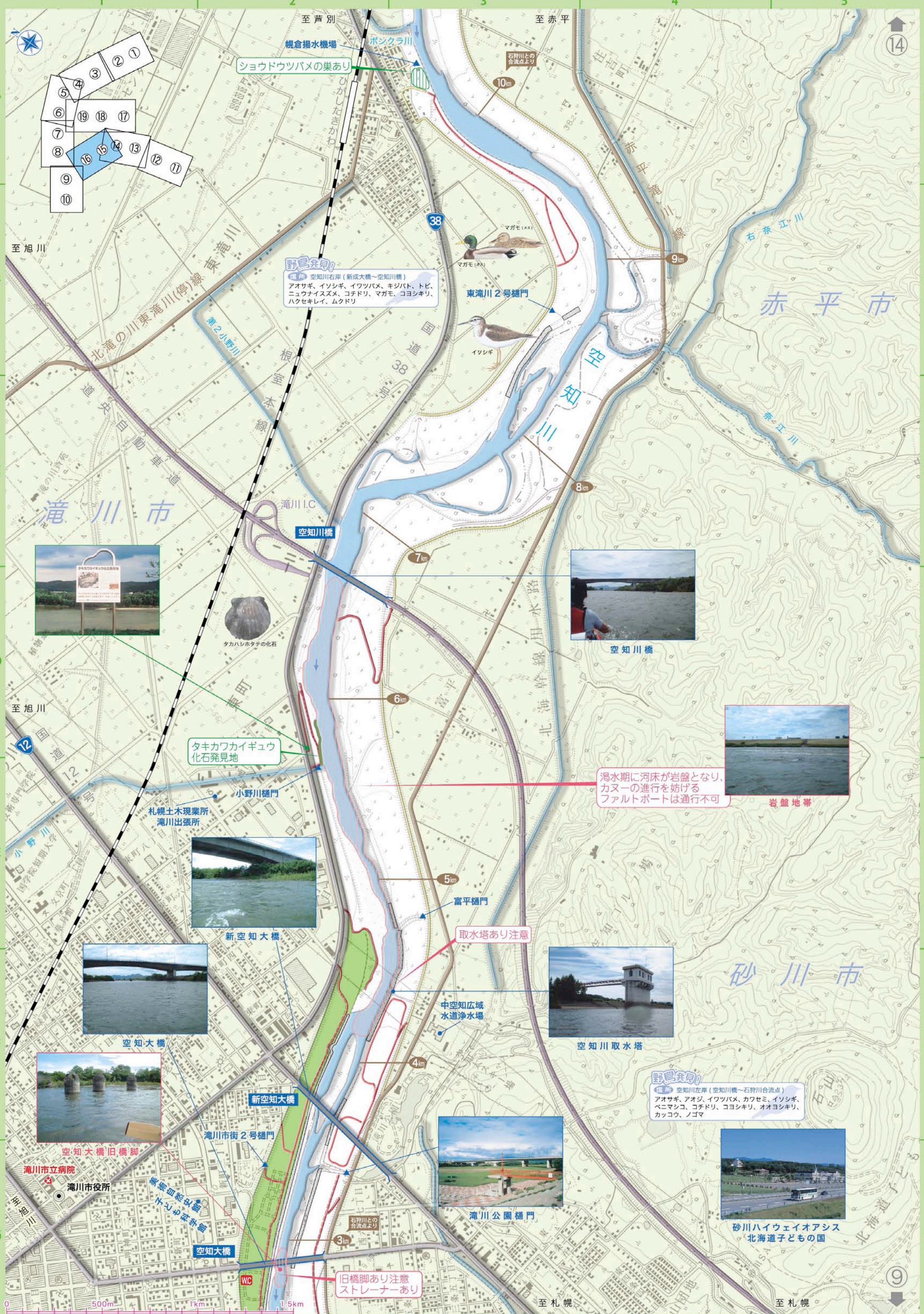


ショウドウツバメの巣

ショウドウツバメの巣あり

東滝川2号樋門

石狩川との合流点より





川がネットをまちづくり

協議会では川を活用して教育・環境・交流・河川防災など様々なまちづくりを行っています



教育



水防

洪水時・河川利用の救助訓練
RESCUE3JAPAN (SFR, SRT1)

指導者養成



RAC CONE 受講の様子
リーダー・中Iインストラクター



交流



川の楽しさ、
知ってほしい〜♪
体験してほしい〜♪



ラウネ川河童(ミントチ)祭り
「舟漕ぎ大会、農産物直売場…」
ラウネ川周辺施設(川の科学館ほか3施設)・
川の活動団体との交流イベント

森を育てよう♪



石狩川再生の森植樹祭
旧石狩川のラウネ川河畔林の再生

川の水質を学びきれいにしよう。
(バックテスト)



川のごみ拾い
川をきれいにしよう。

環境

川はキレイに♪

活力あるまちづくりと魅力ある川づくりのインストラクター(川の達人)になろう。

石狩川リバーインテリジェント(IRI)認定を取得してインストラクターを目指そう。

石狩川リバーインテリジェント(Ishikari River Intelligent)認定制度(頭文字をとって「IRI」通称アイ・アール・アイ)は、石狩川流域の住民が実践する川を活かしたまちづくりの活動を促進させ、活力と魅力ある地域づくりをすすめるため、その住民主体の活動をコーディネートする人材を育成する制度である。

川の活動をしている人、川が好きな人、川辺の生物に興味のある方、自治体職員、河川管理者などの川とのかかわりのある皆様は是非、認定をお受けください。

研修テキストの構成

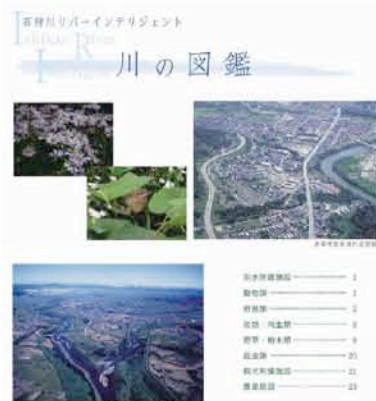
石狩川リバーインテリジェント認定制度・河川の基礎・石狩川学・リスクマネジメント・活動事例集

選択科目(カヌーの基礎技術・水生生物の観察・水辺の野鳥観察)

附属テキスト

【川の図鑑(野鳥・水生生物・観光施設・洪水防御施設)】

【IRI MAP(川地図)】: 防水性(水辺の活動に最適)



認定団体: まちづくり・川づくり協議会

まちづくり・川づくり協議会は、石狩川流域の河川環境を誇りに思い、大切にしながら埋もれていた資源である川・自然・人そして知恵や技術などを活かし、流域住民の主体のもと、住民、企業、団体、行政などが連携して、活力ある地域づくりの実現を目指すため、平成15年に発足した団体です。
(※会員も募集しています。)



事務局

滝川市役所建設水道部都市計画課内

まちづくり・川づくり協議会事務局

TEL 0125-23-1234 (内線 1447)

公式ホームページ: <http://www.matikawa.jp/>

まちづくり・川づくり協議会 IRI 研修プログラム

I部 テキスト講習

川とまちづくり
石狩川の姿
安全な活動
活動事例
川の図鑑
川の活動マップ

II部 実技研修

まちづくり・川づくり協議会の
活動参加(1回以上)
教育: 川の体験学習活動
環境: 美化活動・緑化活動等
交流: イベントや地域づくり



修了書発行

RAC(川に学ぶ体験活動協議会)

取得資格: リーダー

CONE(自然体験活動推進協議会)

取得資格: リーダー

RESCUE3JAPAN

取得資格: スイストウォーターレスキュー・ファーストレスポンドークラス

上記すべてが揃って

石狩川リバーインテリジェント 認定書発行

として認定する。(本協議会)

IRI 人材バンク(インターネット)

IRI の紹介・斡旋・PR

IRI は、石狩川流域の川を活かしたまちづくり活動のコーディネーターとして活躍が期待される。

石狩川中流域市町紹介			
深川市	人面口積 市名の由来 市の花、木	27,579人 529.23Km ² 市名の由来は、深川原野を貫流していた大鳳川(アイヌ語でオオホ・ナイ、深い川)が語源といわれている。 シラカバ、キク	概況 明治22年、上川道路(現国道12号(札幌-旭川間))が開通し、同年、華族組合雨竜農場が設立されるなどにより開拓が始まった。大正7年、深川村が町制施行。昭和38年、隣接4町村が合併し深川市となった。また、昭和45年多度志町を合併し現在に至る。基幹産業は、農業であり石狩川と雨竜川の流域に広がる肥沃な土壌と恵まれた気象条件のもと道内有数の稲作地帯である。
滝川市	人面口積 市名の由来 市の花、木	46,861人 115.82Km ² 市名の由来は、アイヌ語の「ソーラプチ」=「滝下る所」を意訳したものである。また、空知川の中流には滝のような段差がありアイヌの人々から「ソーラプチベツ」=「滝のかかる川・滝の川」と呼ばれており、滝川という地名がつけられた。 コスモス、ツツジ、プラタナス	概況 明治23年滝川村を設置。明治43年滝川町となり、昭和33年滝川市となる。昭和46年江部乙町と合併し、現在の滝川市となる。石狩川と空知川の合流点に位置し、古くから人と物資の中継地点として、流域の中心として発展し、現在でも中空知広域圏の商業や文化の中核都市として発展している。市域は平地が広く、田畑が占める穀倉地帯であり、米作のほかタマネギやりんごの栽培も行われている。河川敷を利用した様々な施設があり、中でも「滝川スカイパーク」のグライダーは全国的にも有名である。
砂川市	人面口積 市名の由来 市の花、木	21,072人 78.69Km ² 市名の由来は、アイヌ語のオタ・ウシ・ナイを意識したものである。「オタ」は砂、「ウシ」は多い、「ナイ」は川を意味し、石狩川と空知川に抱かれるような地形の砂川には、上流に歌志内を源とする「ペンケオタウシナイ川」と、下流に市街の中央を流れる「バンケオタウシナイ川」があり、アイヌ語の地名「オタウシナイ」が生まれたものと考えられてる。 ナナカマド、スズラン	概況 明治23年奈江村が設置され、同36年に砂川村と改称された。大正12年に町制が施行され、昭和19年奈井江村(現在の奈井江町)と同24年に上砂川町を分離し、同33年に砂川市となる。市街地は国道12号を沿いに広がり、南部は大型の工場、北部に自動車関連の企業が進出している。南北に平地が広がり、米やタマネギなどの農業も営まれている。旧川跡地を利用した洪水調整池を砂川遊水地「オアシスパーク」として整備し、遊水施設、オートスポーツ、ゴルフ場などが設置されている。また北東部には「北海道子どもの国」があり、キャンプのほか自然の中で遊べる施設が整っている。また行政人口一人当たりの公園面積が日本一である。
赤平市	人面口積 市名の由来 市の花、木	15,743人 129.88Km ² 市名はアイヌ語で「山稜のガケ」の意。 カエデ、キク	概況 明治23年入植者により開墾され、大正11年歌志内村から分村した。昭和18年に町制を施行し、同29年に赤平市となる。昭和10年以降は産炭地として隆盛するが、昭和30年代相次ぐ炭鉱の閉山により人口が減少する。現在では、米作、畑作を中心とした農業も行われる。
妹背牛町	人面口積 町名の由来 町の花、木	4,232人 48.55Km ² アイヌ語で『イラクサの生い茂るところ』の意の『モセユーセ』より転じた町名の由来である。 ツツジ、ナナカマド	概況 明治26年より侯爵蜂須賀茂韶、侯爵菊亭修季ら華族により農場開拓が行われた。大正12年深川町から分村して、妹背牛村となり、昭和27年妹背牛町となった。総面積48.55㎓と北海道では3番目に小さい町。山がなく平坦な地形に豊かな美しい田園風景が広がる。米作が盛んで近年は花の栽培でも知られるようになった。また、昭和52年妹背牛商業高校女子バレーボール部が全国制覇を成し遂げて以来、「バレーの町もせうし」としても名を馳せる。
雨竜町	人面口積 町名の由来 町の花、木	3,601人 190.91Km ² 雨竜(うりゅう)とは、アイヌ語の地名「ウリロベツ」(鵜の多い川という意味)より転訛しもので、雨竜川の河口に多くの鵜が生息していたことから、このような名が付けられたといわれている。 ダリア、トドマツ	概況 明治25年雨竜町が設置され、同32年に北竜村と分村し、昭和36年に雨竜町となる。基幹産業は稲作が主体となり、近年ではメロンなどの作付けも行われている。町の西側には標高1,491mの暑寒別岳を頂点とする暑寒別連峰がそびえ、標高850mの地点に「雨竜沼湿原」がある。尾白利加川をせき止めて造られた人造湖「暑寒湖」(暑寒別天売焼尻国定公園指定)も見所の一つ。
新十津川町	人面口積 町名の由来 町の花、木	8,067人 495.62Km ² 移民の出身地、奈良県吉野郡十津川村に因んで、新十津川とした。 オンコ、ツツジ	概況 明治23年奈良県十津川村から移住した移民により新十津川村を開村。昭和32年に新十津川町となる。肥沃な大地で農業生産に適した地域である。基幹産業の農業は水田中心の稲作から、メロンやアスパラガスなどの生産にも至る。町の南西部にそびえる標高1,100mのピンネシリは、初級者も登山が楽しめる山で頂上からは暑寒別連峰や石狩湾が望める。

※人口はH12年「国勢調査」(総務省)による



石狩川
大きく
大きく
悠々と
空知の大地を
流れる大河
母なる川の
音を聴こう
流れのままだに
行こう